

都市再生整備計画 事後評価シート  
竜西地区

平成26年2月

長野県駒ヶ根市

様式2-1 評価結果のまとめ


都道府県名	長野県	市町村名	駒ヶ根市	地区名	竜西地区			面積	3,500ha		
交付期間	平成22年度から平成25年度	事後評価実施時期	平成25年度	交付対象事業費	825.8	国費率	0.4				
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	市道1-10号線外37路線、防災行政無線デジタル化、緑地整備事業、防災備蓄倉庫設置								
		提案事業	舗装修繕事業、防災ハザードマップ作成、防犯灯設置補助、生ごみ堆肥化事業、企業立地支援事業、市民満足度調査、まち普請支援事業								
	当初計画から削除した事業	事業名		削除/追加の理由		削除/追加による目標、指標、数値目標への影響					
		基幹事業	市道 大手女体線 市道 1-480号線 市道 1-277号線 市道 中田切線 市道 上穂本線 市道 1-191号線 市道 1-695号線 市道 1-146号線	市道 大手女体線 : 整備計画見直しにより削除 市道 1-480号線 : 整備計画見直しにより削除 市道 1-277号線 : 整備計画見直しにより削除 市道 中田切線 : 整備計画見直しにより削除 市道 上穂本線 : 市単費にて対応により削除 市道 1-191号線 : 市単費にて対応により削除 市道 1-695号線 : 整備計画見直しにより削除 市道 1-146号線 : 市単費にて対応により削除	市道 大手女体線 : 影響なし 市道 1-480号線 : 影響なし 市道 1-277号線 : 影響なし 市道 中田切線 : 影響なし 市道 上穂本線 : 影響なし 市道 1-191号線 : 影響なし 市道 1-695号線 : 影響なし 市道 1-146号線 : 影響なし						
		提案事業	生ごみ堆肥化事業	生ごみ堆肥化事業 : 新たな施設整備を行わないことにより削除	生ごみ堆肥化事業 : 目標への影響はないが、数値指標において直接的改善への貢献が見込めないため、一部の指標を削除						
	新たに追加した事業	基幹事業	市道 1-499号線 市道 1-962号線 市道 上穂本線 市道 1-135号線 市道 北原切石線 市道 1-963号線 市道 中筋線 市道 1-1号線 市道 1-501号線 市道 中割経塚線 市道 1-680号線 緑地整備事業(赤須ヶ丘タウン公園) 公共施設等案内看板設置 駐輪場整備 駅前バリアフリー整備 観光地街路灯設置	市道 1-499号線:狭隘道路であり、拡幅改良整備により快適性の向上 市道 1-962号線:排水機能の向上 市道 上穂本線:交通上危険箇所であり、交通安全のための交差点改良 市道 1-135号線:狭隘道路であり、拡幅改良整備により快適性の向上 市道 北原切石線:舗装面の老朽化に伴う、舗装整備 市道 1-963号線:舗装面の老朽化に伴う、舗装整備 市道 中筋線:舗装面の老朽化に伴う、舗装整備 市道 1-1号線:幅員が狭小で側溝が未整備のため改良整備により快適性の向上 市道 1-501号線:幅員が狭小で側溝が未整備のため改良整備により快適性の向上 市道 中割経塚線:視覚誘導ラインの整備による快適性の向上 市道 1-680号線:一時停止エリア確保による安全性の向上 緑地整備事業(赤須ヶ丘タウン公園):住宅密集地への公園整備 公共施設等案内看板設置:幹線道路へのスムーズな移動を図るための案内板 駐輪場整備:快適な住環境を形成するための駐輪場整備 駅前バリアフリー整備:快適な住環境を形成するための駅前バリアフリー化 観光地街路灯設置:観光地の老朽化した街路灯のLED化	市道 1-499号線:快適に暮らせる住環境に貢献するが、目標及び指標は据え置く 市道 1-962号線:快適に暮らせる住環境に貢献するが、目標及び指標は据え置く 市道 上穂本線:快適に暮らせる住環境に貢献するが、目標及び指標は据え置く 市道 1-135号線:快適に暮らせる住環境に貢献するが、目標及び指標は据え置く 市道 北原切石線:快適に暮らせる住環境に貢献するが、目標及び指標は据え置く 市道 1-963号線:快適に暮らせる住環境に貢献するが、目標及び指標は据え置く 市道 中筋線:快適に暮らせる住環境に貢献するが、目標及び指標は据え置く 市道 1-1号線:快適に暮らせる住環境に貢献するが、目標及び指標は据え置く 市道 1-501号線:快適に暮らせる住環境に貢献するが、目標及び指標は据え置く 市道 中割経塚線:快適に暮らせる住環境に貢献するが、目標及び指標は据え置く 市道 1-680号線:快適に暮らせる住環境に貢献するが、目標及び指標は据え置く 緑地整備事業(赤須ヶ丘タウン公園):影響なし 公共施設等案内看板設置:影響なし 駐輪場整備:影響なし 駅前バリアフリー整備:影響なし 観光地街路灯設置:影響なし						
		提案事業	田舎暮らし推進事業 中心市街地調査	田舎暮らし推進事業 : 都市部における田舎暮らし希望を誘致し、定住促進を図る。 中心市街地調査 : 中心市街地の賑わいを推進するための事前調査	田舎暮らし推進事業 : 活力あふれるまちづくりに貢献するが、目標及び指標は据え置く 中心市街地調査 : 活力あふれるまちづくりに貢献するが、目標及び指標は据え置く						
		交付期間の変更	当初 変更	平成22年度～平成26年度 平成22年度～平成25年度	交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響	影響なし					
	2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標	単位	従前値	目標値	数値	目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
		指標1	市民満足度調査	Pt	2.92	H21 3.0以上	H25	3.0	○	あり なし	市民満足度調査については、平成28年1月に調査を実施し、今後のフォローアップに効果を確認します。ただし、事業を実施した結果、満足度が改善され、防災設備等により安全安心なまちづくりが図られており、満足度調査結果については、所定の評価を上回る見込みです。
指標2		災害情報難聴地区アンケート調査	%	75	H22 30	H25	30	○	あり なし	防災行政無線難聴地区アンケート調査については、平成28年1月に調査を実施し、今後のフォローアップにて効果を確認します。ただし、事業を実施した結果、難聴地区は解消されており、アンケート結果については、所定の評価を上回る見込みです。	平成26年4月頃
指標3		企業立地による雇用の確保	人	0	H21 50	H25	61	○	あり なし	新規企業立地により、地域住民の雇用がなされ、産業振興基盤の強化につながった。	
指標4									あり なし		
指標5									あり なし		

	指標		従前値		目標値		数 値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因 (総合所見)	フォローアップ 予定時期
	単位		基準年度	目標年度	モニタリング	評価値						
3)その他の数値指標 (当初設定した数値 目標以外の指標)に よる効果発現状況	その他の 数値指標1											
	その他の 数値指標2											
	その他の 数値指標3											
4)定性的な効果 発現状況	防災行政無線のデジタル化や道路整備に加え、洪水や土砂災害等の危険箇所や避難支援施設を記載した防災ハザードマップの作成と防災備蓄倉庫建設を併せて実施したことにより、防災体制についてハード面とソフト面の双方から強化することができた。											
5)実施過程の評価			実施内容			実施状況				今後の対応方針等		
	モニタリング	市民へ満足度に関するアンケートを実施し、事業進捗に伴う効果及び指標の検証を行った。	都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				●	計画期間終了後においても、道路環境や防災環境などの地域住民アンケートを定期的実施し、市民の満足度を確認する。				
	住民参加 プロセス	防災行政無線整備後、市民へ試験放送を行い、聞こえ具合の確認を行った。	都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				●	防災訓練等により、防災行政無線の放送を行い、聞こえ具合を確認し、不具合があれば改善を図る。				
	持続的なまちづくり 体制の構築	—	都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった					—				


## 様式2-2 地区の概要

### 竜西地区(長野県駒ヶ根市) 都市再生整備計画事業の成果概要


まちづくりの目標	目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
	指標	単位	数値	年次	数値	年次	数値	年次
【大目標】 地域住民の生活基盤と産業振興基盤が調和した安全安心快適で活力あふれるまちづくり 目標1: 快適に暮らせる居住環境を確保するとともに、産業振興基盤強化による活力あふれるまちづくりの創出 目標2: 災害に強い安全安心なまちづくりの推進 目標3: 官民協働によるまちづくりの推進	市民満足度調査	単位: Pt	2.92	H21	3.0以上	H25	3.0	H25
	災害情報難聴地区アンケート調査	単位: %	75	H22	30	H25	30	H25
	企業立地による雇用の確保	単位: 人	0	H21	50	H25	61	H25



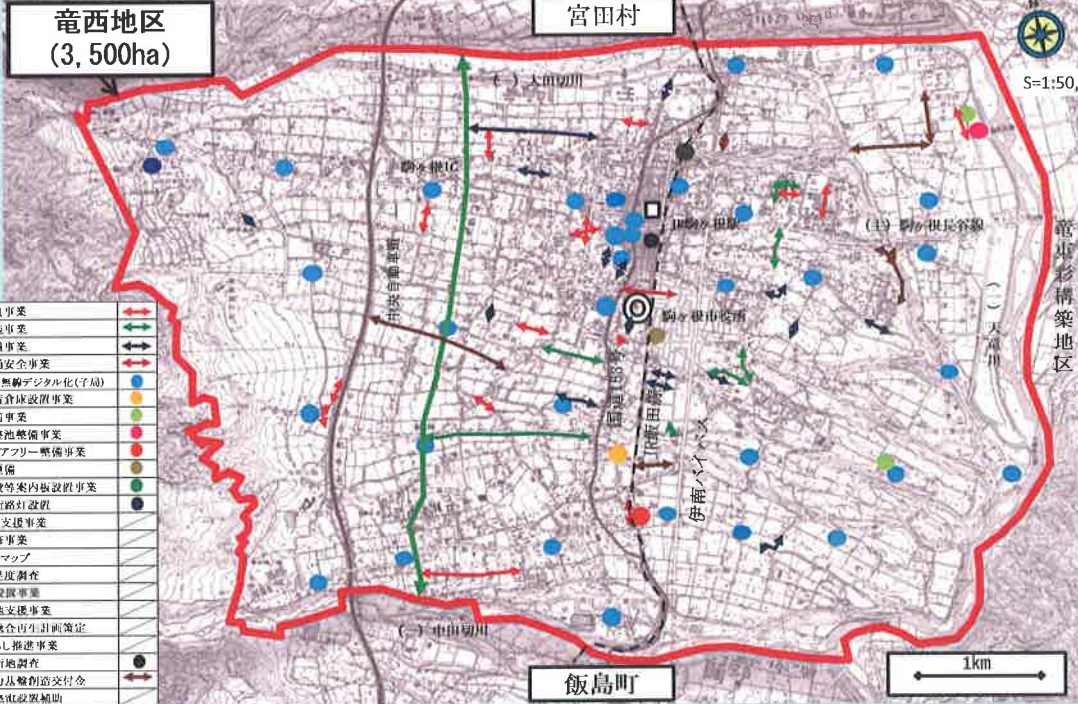
調整池整備事業 下平地先



防災行政無線デジタル化 地区全体



緑地整備事業 赤須ヶ丘タウン公園



竜西地区 (3,500ha)


宮田村

飯島町


竜東彩構築地区

S=1:50,000


1km



道路事業 市道 飯坂3号線



防災備蓄倉庫設置 赤穂南小学校



駅前バリアフリー整備 伊那福岡駅前

基幹事業	道路改良事業	道路舗装事業	道路交通安全事業	防災行政無線デジタル化(子局)	防災備蓄倉庫設置事業	緑地整備事業	防災調整池整備事業	駅前バリアフリー整備事業	駐輪場整備	公共施設等案内板設置事業	緑地地価調査
基幹事業	まちづくり支援事業	舗装補修事業	ハザードマップ	市民満足度調査	防災行政無線事業	企業立地支援事業	街創産出計画策定	田舎暮らし推進事業	中心市街地調査	地域活力及整利面交付金	太陽光発電設置補助

まちの課題の変化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地区内の生活道路において、側溝に蓋をし道幅を拡幅することにより、歩道が確保され歩行者の安全性が向上した。</li> <li>・防災行政無線のデジタル化により、難聴地区と考えられる区等の解消が図られ、的確な情報伝達が行われるようになった。</li> <li>・新規企業立地を行い、新たな雇用先の確保が図られ産業振興基盤強化につながった。</li> </ul>
今後のまちづくりの方策 (改善策を含む)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・避難施設として指定されている建物の中には、老朽化が著しい建物もあり、今後予想される災害等の非常時に対応するため、地域の防災活動や避難・救援活動の拠点となる建物の機能更新や耐震補強等の施設整備を急ぐ必要がある。</li> <li>・郊外に広がった都市構造の再編を目的として都市機能を集約するため、中心市街地の老朽化した保育施設の建替えと合わせて、新たに子育て支援施設を併設した拠点保育施設整備を進め、市街地の活性化を図る必要がある。</li> <li>・小中学校の通学路と指定されている生活道路は、歩道環境が未整備のために、児童・生徒の登下校時における歩行者の安全性を確保する必要がある。また小学校のグラウンドや体育館などは、災害時の緊急避難施設に指定されており、緊急時には、地域住民が安全に避難施設へ移動できるよう道路整備等が必要である。</li> <li>・住宅地に残された、貴重な自然平地林を次世代に継承するため、自然環境の整備を行い、環境保全と自然保護意識の高揚を図る必要がある。</li> <li>・防災行政無線の宅内における聞き取り不具合の解消に向けて、迅速的確な災害情報伝達手段を検討する必要がある。</li> </ul>